

日本光学会第163回幹事会議事録

日 時：平成13(2001)年5月10日(木)

13:30~17:00

場 所：機械振興会館地下3階1号室

出席者：岩田幹事長，以下23名

議 事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- 平成13年度「光学」編集委員会名簿の報告があり承認された。
- 編集業務の現状と円滑な運営を考慮し，編集委員名簿・依頼記事の最終的な督促など一部業務を編集委員会から編集局へ移管する。来年度からの予算化を検討する。
- 50周年記念特集号の企画案が提示された。
- 前回の幹事会において承認された50周年記念特集号の編集・印刷費の増分額が，増大する見込みとなったため，当該議事録の修正が提案され，承認された。また新たに郵送費の増分としての経費について提案が行われ，承認された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集委員会報告

「OPTICAL REVIEW」は順調に発刊している。

2-2. 講演会関連報告

(1) 光学シンポジウム関連報告

- 応用物理学会関係連合講演会，「光学」第30巻第4号を通じてプログラムの配布・掲載を開始した。「応用物理」5月号にも掲載予定。ホームページにプログラム・アブストラクトを公開し，さらにプログラムに関しては利用者の便も考慮し，PDF形式も用意した。
- 会場に関して，予約は確定しているものの，料金に関しては4月中に確定するはずであったが，現在のところ未定。
- 予稿集に関しては，作成に着手するところである。

(2) ICOSN 2001 進捗報告

- 去る4月19日にパシフィコ横浜で実行委員会を開催し，本会議の打ち合わせを実施。
- 5月23日に再度同委員会を開催し，本会議の最終調整を行う予定である。

- 法人会員の勧誘を継続してお願いしたい。

(3) 3次元画像コンファレンス進捗報告

光学会ホームページからのリンクがないので，リンクしたほうがよいとの意見があった。

(4) サマーセミナー進捗報告

「応用物理」6月号広告掲載とポスターを予定している。

(5) OPTICS JAPAN 2001 進捗報告

- 募集要項の作成が終了し，ホームページもすでに立ち上がっている。
- 申し込み受付は7月2日からで，Webからの申し込みのみとする。
- 学生非会員の当日払い参加費を昨年の3,000円から2,000円に値下げし，学生会員と同額とした。
- 今回は，日本光学会設立50周年記念講演として7件，招待講演のみの特別講演(スペシャルセッション)として4件のプログラム企画を予定。
- 参加費支払確認事務手続きの簡便さを考慮し，本年から支払方法に郵便振込みを追加し，これを推奨することとする。
- 予稿集の裏表紙に広告の掲載を予定している。
- OJ参加募集案内の応用物理への掲載を検討することとなった。
- Web申し込みを簡素化する予定。大枠決まり次第，幹事に周知。

(6) 北陸信越講演会進捗報告

- 11月初旬~中旬ごろに長岡科学技術大で開催の予定。
- テーマは「フォトニクスを支える先端機能材料」の予定。
- 講演者は4,5名とし，講演の他に長岡科学技術大の関連研究室の見学も併せて行う予定。
- 詳細については，8月初旬ごろまでに確定させる予定で進めている。

(7) 関西支部連合講演会結果報告

- 2001年2月9日に立命館大で「光が可能にする新しい計測」というテーマで開催された。
- 参加費を半額にしたことや，講演数を前年度の4つから6つに増やしたことなどにより，講師や幹事を除く正味の参加人数は前年度の20人から70人に増加した。

2-3. その他報告事項

(1) ICOへの加盟とトピカルミーティングについて

- 加盟については，石井国際協力幹事を中心に，手続きを

開始する。

- ・トピカルミーティングの開催に関しては、6月末に岩田幹事長をはじめとする5人のメンバー（ICO前委員長、学術会議光学専門委員会委員長、前委員長、日本光学会幹事長、ICO担当国際協力幹事）で相談を行う予定。
 - ・詳細に関しては、9月のICO総会までに決めることとするが、内容に関しては常任幹事会に一任することとなった。
- (2) OPTICAL REVIEW の IPAP への移行と電子化について
- ・OPTICAL REVIEW を来年の1月を目処に IPAP へ委託を移行することを確認した。
 - ・従来委託していた学会事務センターへは、6か月前までに契約解消の通知を行う必要がある。
 - ・OPTICAL REVIEW の体裁は JJAP に準拠することとなるが、その変更はフォント名などごく軽微なものであるため特に問題はないと考えられる。
 - ・OPTICAL REVIEW の電子化に関しては、JJAP や JPSJ 等、他雑誌の進捗状況を勘案しながら進めていく予定である。
- (3) 協賛依頼
- オプトメカトロニクス協会から2件の協賛依頼があった。
- (4) 会員動静
- 3月末に比べ、A 会員、B 会員、特別会員ともに微増となった。
- (5) 資料室使用状況について
- ・4月に1件、5月、6月にそれぞれ2件であり、大半が応用物理学会の利用である。
 - ・現在、応用物理学会の他分科会から利用依頼があった場合には断っているが、最近の利用状況からすれば他分科会に開放してもいいのではという意見があった。他分科会が利用する際には、価格や申し込み解禁日に差をつけることで、日本光学会での利用に支障が出ないような規定にしたいとの提案があり、応用物理学会の理事会で提案する方向で検討することとなった。
- (6) 日本光学会ホームページについて
- ・従来の学協会情報発信サーバーから、応用物理学会サーバーへ5月中旬に移行する予定。URL は決まり次第アナウンスすることとする。
 - ・従来の学情サーバーから新サーバーへのリンクを張って利用者の利便を損なわないよう対処。
- (7) 会計について
- ・2001年度版会計処理の手引き書を用意。手引き書に沿

って進めるよう、特に新任幹事の方々に注意を喚起。

- ・前回の幹事会で承認された新しい国際協力支援金規定が提示された。
- (8) 光学奨励賞について
- 審査委員を、北大の笹木先生から、北大の岩井先生に変更した。
3. 審議事項
- (1) 光学論文賞募集要項
- 学会誌掲載原稿案が示され、承認された。
- (2) 光学論文賞審査委員について
- 交渉はまだ行っていないが、過去に論文賞を受けたことのある人の中から候補者を選出したいと考えている。
- (3) 将来計画 WG について
- ・10名のメンバー（依頼済み）および、WG の方針が示された。12月ごろまでに答申案を提出できるように進める予定であり、幹事長もアドバイザーとして参加。
 - ・50周年記念のアンケート結果を見て、計画に反映させるのはどうかという意見に対して、今後検討することとなった。
 - ・WG メンバーに、企業所属の方を増やしたほうがいいのではないかと意見を受けて、今後担当幹事で検討していくこととなった。
- (4) 入会のしよりの改定
- ・すでに A・B・C として分かれている特別会員や URL の現行化、および入会申込書の改定などを行う予定であり、改定案が完成次第、会員増強を計画しているため、各幹事にご協力いただきたい。
- (5) 韓国光学会との協定について
- ・まず、本年9月から来年末までの期間で暫定的に締結する予定。2003年から有効となる最終的な締結を目指すこととなった。
 - ・協定内容に関して、特に「メーリングリスト」の交換に関する部分が誤解を与える可能性があるとの判断から、誤解を招く恐れのある表現を削除する条件で承認された。
 - ・協定は、SPIE のように英語のみが正式な協定文となるのか、日本語と英語とがともに協定文として有効になるのかどうかについて、今後調査することとなった。
- (6) 幹事選考の規定の見直し
- ・第4条記載の幹事推薦候補者の決定を従来の7月の幹事会から9月の幹事会へ変更することと第8条の後半を、独立した条項とすることが提案され、承認された。
- (7) 資料室の備品について
- ・現在は、資料室の備品の貸し出しに関する規定はない

が、備品を増やした上、幹事会が了承すれば貸し出すことができるような規定を作るのはどうかとの意見があった。さらに50周年記念特集号のCD-ROMを資料室に置くのであれば、CD-ROMを閲覧するためのパソコンが必要との意見があったが、破損時の修理費などの問題があるため、検討を継続することとした。資料室の備品ではなく、むしろ幹事会として管理を行い、その置き場を資料室にするのはどうかという意見も出された。

(8) 光学五学会関西支部連合講演会への分担金の見直し

- ・1990年当時の関西支部所属会員数から算出されている現状の分担金の額を現行化したいと提案があり、承認された。

(9) 冬期講習会進捗状況

- ・5月末までに実行委員会を招集の予定。
- ・テーマは、「ナノテクノロジー」「光メモリ」「ITと光学技術」などを検討中。

次回幹事会は、7月12日(木)13:30～、光学会資料室

平成13年度第1回常任幹事会

2001年7月12日(木)に日本光学会資料室において開催されました。「光学」「OPTICAL REVIEW」編集委員会報告、ICOSN 2001、光学シンポジウム、3次元画像コンファレンス、サマーセミナー、Optics Japan 2001、カラーフォーラム、関西講演会、北陸信越講演会、冬期講習会等の講演会関連の報告、日本光学会奨励賞審査、光学論文賞審査、将来計画委員会、韓国光学会との協定について等の報告、予算案、次期幹事選出方針、ICOへの加盟手続き、ICO国際会議の開催、応用物理学会分科会規定の変更に伴う日本光学会規則の変更、応用物理学会役員と代議員推薦などに関する審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第11号に掲載予定です。

平成13年度第2回「光学」編集委員会

2001年7月11日(水)、(財)日本学会事務センター学会共同編集室において開催されました。第31巻第2号～第3号企画、第31巻第5号～第7号構想案について審議が行われました。また、光学編集業務見直し、光学ホームページ、「講義」編集業務について審議がなされました。そのほか、論文投稿・審査状況、各号進捗状況、光学出版費用等について報告がなされました。

OPTICS JAPAN 2001 (日本光学会設立50周年記念大会)

日本光学会の年次学術講演会が以下の日程で行われま

す。今回は、日本光学会設立50周年記念大会ですので、是非とも奮ってご参加ください。

日時：2001年11月5日(月)～11月7日(水)

9:00～18:30

会場：早稲田大学国際会議場 (〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-20-14)

主催：日本光学会 (応用物理学会)

参加費：主催・協賛学協会員 4,000円 (事前払い)

予稿集代：3,000円 (事前払い)

プログラム：

[招待講演] 日本光学会設立50周年記念講演7件

1) Introductory Talk

Koichi Iwata (President of The Optical Society of Japan (OSJ), Osaka Prefecture University, Japan)

2) Future Trends in Optics and Photonics in Japan

Yoshiki Ichioka (Nara National College of Technology, Japan)

3) Optoelectronics Technologies for Ubiquitous Information Society in the 21st Century

Yasuhiko Arakawa (University of Tokyo, Japan)

4) Current Research and Development of Optics in Korea

Sang-Yung Shin (President of The Optical Society of Korea (OSK), Korea Advanced Institute of Science and Technology, Korea)

5) The Progress of Optical Science and Engineering in China

Jian-Ling Cao (Vice president of Chinese Optical Society, Director of Changchun Institute of Optics and Fine Mechanics, CAS, China)

6) Harnessing Light, the Study and an Update

Arthur H. Guenther (President of International Commission for Optics, University of New Mexico, U.S.A.)

7) Optical Technologies for the 21st Century in Europe: Potentials and Trends

Theo Tschudi (President of The European Optical Society, Technische Universität Darmstadt, Germany)

[特別講演 (スペシャルセッション)] 4件

1. テーマ：光学による新しい生命科学の展開

- ・遺伝子を読むタンパク質分子の動きを見る

原田慶恵 (東京都臨床医学総合研究所)

- ・ mRNA を運ぶしくみ：分子遺伝学における光学の応用
谷 時雄 (熊本大)
- 2. テーマ：明日の光応用技術
 - ・ 第 2 世代の光ファイバー通信技術
伊澤達夫 (NTT エレクトロニクス)
 - ・ Photonic MEMS Switching—the Race to Widespread
Deployment Anis Husain (OMM Inc., USA)

[公募型シンポジウム]

1. デジタル技術と光学
招待講演：「動き出した IT 革命と光技術」
大山永昭 (東工大)
2. 光学技術におけるソフトウェア
招待講演：「光学技術におけるデータ処理—光計測を中心として—」
谷田貝豊彦 (筑波大)
3. 適応的光波制御技術の最前線
招待講演：「すばる望遠鏡の補償光学系とその将来」
高見英樹 (国立天文台)
4. 色覚と分光画像処理
招待講演：「分光画像情報の記録と再現—その現状と課題—」
三宅洋一 (千葉大)
5. 光情報処理・通信のための光波シンセシス
招待講演：「IP オーバーフォトニックネットワークにおける超高速フォトニック処理」
北山研一 (大阪大)
6. 立体映像メディアの最前線
招待講演者：「ホログラフィックテレビジョンの最新動向と展望」
佐藤甲癸 (湘南工科大)

その他、一般講演およびポスターセッションを行います。

今回の口頭発表は、質疑応答を含めて 20 分です。

参加申込方法： 光学第 30 巻第 5 号掲載の OJ 2001 講演募集の参加申込方法をご参照ください。または下記の OJ 2001 のホームページをご覧ください。

問合せ先： Optics Japan 2001 事務局

E-mail oj2k2inf@t-kougei.ac.jp

〒243-0297 厚木市飯山 1583 東京工芸大学工学部光工学科内 中楯末三

ホームページ：http://oj2.k1.t-kougei.ac.jp/

東北大学電気通信研究所教官公募

公募人員： 助教授もしくは助手 1 名

所 属： コヒーレントウェーブ工学部門，超高速光通信研究分野

専門分野： (1) 超高速光ソリトン伝送ならびに光ファイバー中の非線形光学効果に関する研究，(2) フェムト秒光パルスを用いた時分割多重超高速伝送に関する研究，(3) 超短パルスモード同期レーザーと周波数標準・光マイクロ波領域への応用，(4) フォトニック結晶ファイバーならびに新機能性光ファイバーの研究等。超短パルスを主とする実験的・理論的研究が中心であるが，数値解析を含む理論的なバックグラウンドに強いことが望ましい。

応募資格： 博士号取得者で年齢は 32～35 歳前後 (助教授)，27～30 歳前後 (助手)。

着任時期： 採用決定後の早い時期

提出書類： (1) 履歴書，(2) 研究・業績リスト (研究内容の概要を含む)，(3) 主要論文別刷 5 編，(4) 推薦書または照会可能者 2 名の氏名，所属，連絡先。

応募締切： 2001 年 10 月 31 日 (水) 必着

書類送付・問合せ先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学電気通信研究所超高速光通信研究分野 中沢正隆

書留で「応募書類在中」と朱筆。

電話 022-217-552 Fax 022-217-5523

E-mail: nakazawa@riec.tohoku.ac.jp

ご逝去

000112 小瀬 輝次

応用物理学会理事，応用物理学会評議員，JJAP 運営委員，日本光学会幹事長，日本光学会幹事，日本光学会編集委員

〒270-2218 松戸市五香西 1-30-12

2001 年 6 月 24 日 死去

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒226-8502 横浜市緑区長津田町 4259 番地 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子機能システム専攻 伊藤治彦 電話 045-924-5459 Fax 045-924-5588 E-mail: ito@ae.titech.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

会員拡大キャンペーンへの協力をお願い

日本光学会は、Optics Japan の開催、新しい国際学術誌「OPTICAL REVIEW」の刊行など、近年ますます活発な事業活動を行っております。光関連分野がさらに拡大しつつある現在、日本光学会の一層の発展を目指して、会員拡大キャンペーンを実施中です。皆様のお近くで、光関連分野で仕事をされている研究者、技術者、そして学生の方々に、日本光学会への入会を、是非おすすめくださいますようお願いいたします。入会のしおり(申込み用紙付)は下記へ請求してください。

申込み先：社団法人 応用物理学会分科会 日本光学会
〒102 東京都千代田区九段北 1-12-3 九段北ビル 5 階
電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245
E-mail: jsapdiv@mb.infoweb.or.jp

日本光学会平成13年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長：	中橋 末三* (東京工芸大)	
前幹事長：	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事：	大谷 幸利* (農工大)	塩川 孝紳* (旭光学)
	門野 博史* (埼玉大)	大瀧 達朗* (ニコン)
	中野 隆志* (産総研)	竹ノ内弘和* (NTT)
	伊藤 治彦* (東工大)	中井 武彦* (キャノン)
『光学』編集幹事：	堀 裕和* (山梨大)	岩井 俊昭 (北大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	谷田 純 (阪大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (奈良高専)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事：	高橋 信明 (防衛大)	石井 行弘 (能開大)
将来問題担当幹事：	山本 公明 (オリンパス)	黒川 隆志 (農工大)
	中島 啓幾 (早大)	
企画・事業担当幹事：	山田 秀則 (富士ゼロックス)	野崎 昭俊 (コニカ)
	高梨 健一 (リコー)	木村 茂治 (日立)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岩瀬扶佐子 (古河電工)
	森 峰生 (鈴鹿医療科学大)	志村 啓 (東芝)
	相津 佳永 (室蘭工大)	佐藤 学 (山形大)
	大高 真人 (福井大)	藤原 巧 (長岡技科大)
	栗村 直 (分子科学研)	塩野 照弘 (松下電器)
	早崎 芳夫 (徳島大)	森 邦彦 (鹿児島大)